

オーケストラにみる、家庭と社会の理想郷！

それぞれの演奏者・指揮者・楽器には存在する意味と目的がある。備えもつ音色と能力をいかに発揮するか、させるか。個と集団の力と調和が肝要。まさに「息を合わせる」という言葉がピッタリ。個は集団を、集団は個を奮起する。「One for all, All for one. 一人がみんなのために、みんなが一つの目的のために」人々の幸せを願い、奏でられた音色は、自分自身の幸せともなろう。家庭・友人・学業・就職・余暇や趣味、生きていく上では様々の苦難や壁が立ちはだかるう。「冬来たりなば春遠からじ」皆の暖かい演奏で、これからも人々の心に春を届けてあげてください。素敵な演奏会に心よりお礼を申し上げます。あいがとさげました！

